

Course number		G-LAS10 80005 LJ37								
Course title (and course title in English)		外国語習得論 1 Theories of Foreign Language Learning and Teaching 1			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor, NAKAMORI TAKAYUKI			
Group		Interdisciplinary Graduate Courses		Field(Classification)		Humanities and Social Sciences				
Language of instruction		Japanese		Old group		Number of credits		2		
Number of weekly time blocks		1	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・First semester	
Days and periods		Wed.1		Target year		Graduate students		Eligible students		For all majors
(Students of Graduate School of Human and Environmental Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)										
[Overview and purpose of the course]										
今年度は、日本人英語学習者が直面する諸課題・困難性（つまずき）について、言語習得理論の知見に基づいて概観します。教育学的可能性を探りつつ、基本的な知識とともに、幅広い視座と深い見識を身に付けることを目的とします。										
[Course objectives]										
学習者が外国語学習過程で直面するつまずきの原因を理論的に解明し、その上で学術的な根拠を持つ授業実践にどのように生かしていくのかについて、学校教育臨床研究の立場から多角的に検討していきます。この授業では、英語の言語知識（音声・文字とつづり・語彙・構造・運用）の学習と指導について系統的に考察し、日本人英語学習者の特徴を理解することを目標とします。										
[Course schedule and contents]										
1．授業の概要と導入： 英語教育学のスタンス（第1章） 2．音声の学習と指導（第2章） 3．文字・つづりの学習と指導（第3章） 試験1：音声、文字とつづりの学習指導について 4．語彙の学習と指導（第4章） 5．構造の学習と指導（第5章） 6．語用論的側面（コミュニケーション）の学習と指導（第6章） 7．外国語処理能力の獲得と指導（第6章） 8．言語知識の学習と指導：学校教育課程への示唆（第7章） 試験2：コミュニケーション能力育成について * 内容に応じて複数回の授業時間を当てます。										
[Course requirements]										
None										

Continue to 外国語習得論 1 (2)										

外国語習得論 1 (2)

[Evaluation methods and policy]

授業中に実施する数回の論述試験の成績を合計し，100点満点換算し，次の評価基準で判定します。評価は，知識の定着度と論証能力（説得性・論理性・明解性）に基づきます。試験を受けられなかった場合は，必ず代替課題を提出してください。代替課題の提出がない場合は，欠席分の点数は零点として計算して評定を出します。

[Textbooks]

中森誉之『学びのための英語学習理論 - つまずきの克服と指導への提案』（ひつじ書房）

[Study outside of class (preparation and review)]

授業形態は講義形式。教科書を用いて説明を行います。受講者による発表や討論，演習などは，時間上の制約により，残念ながら行うことができません。学習指導案を作成しながらの具体的な授業設計は，後期水1の外国語教育論演習2で扱います。

[Other information (office hours, etc.)]

私は日本の英語教育の理論的基盤を構築する仕事をしています。この授業で取り上げる諸課題に関しては学校教育臨床として極めて重要であり，現職教員向けの講座でも広く知見を還元しています。英語教育関係の進路を志望する方，英語教育を経験・勘・思い付きではなく最新・最先端の学術的な視点から客観的に見つめ直したい方，塾や家庭教師で英語を教えている方，言語習得論を考究したい方，その他純粋に興味関心がある皆さんの受講を歓迎します。